

珠洲市 災害に対する心得

2018年1月作成



日頃からの準備が大切です

平常時の心得



交流
地域みなさんとの日常的な交流を心がけましょう。



気配り
お年寄りや子ども、障害のある人などへの日頃の気配りを大切にしましょう。



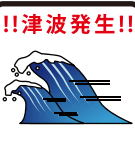
準備
避難時の持出品は日頃から準備し、できるだけ少なくまとめておきましょう。



避難路
自宅から避難所までの複数の道し、順や方向を確認し、避難訓練を試みましょう。



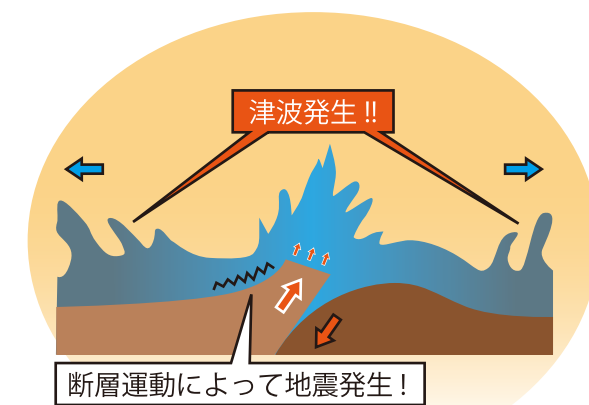
知識
日頃より津波についての知識、理解を深めましょう。



津波を知りましょう

津波ってなに...?

海底の断層運動(地震)によって、海底が急激に動くことにより海面が押し上げられます。その結果、海水の塊が津波となって四方に広がっていきます。
また、断層運動(地震)だけでなく海底での地崩れや海底火山の噴火などによっても引き起こされることがあります。

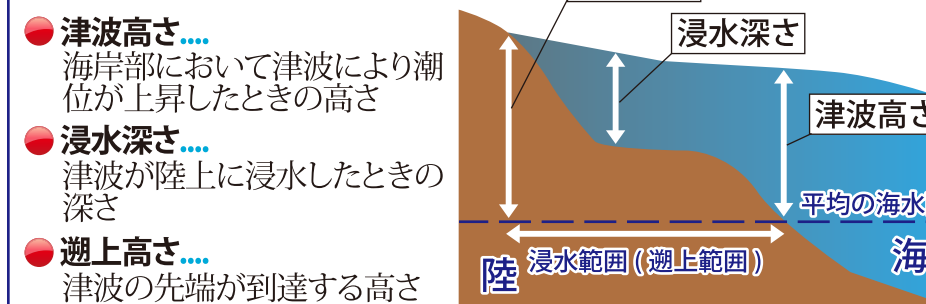


津波の怖さとは...?

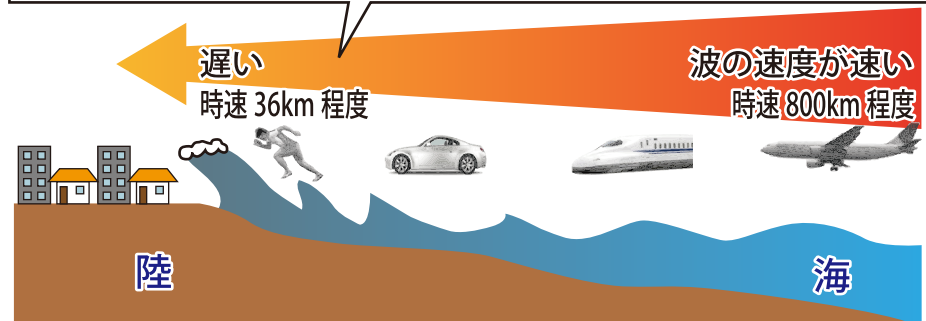
- 津波はすさまじい破壊力を持っています。
- 引き潮で津波が始まるとは限らず、いきなり津波が襲ってくることもあります。
- 津波は海岸の地形によっては数倍の高さに及ぶこともあります。
- 津波は時間が経過しても勢いは衰えず、繰り返し襲ってきます。
- 津波の伝わる速さは海が深いほど速くなり、海上ではジェット機の速さ(時速800km)になることもあります。陸地へ乗り上げてからも、時速36kmくらいで押し寄せるため津波が見えてから逃げても間に合いません。

津波に関する用語

津波では、「津波高さ」、「浸水深さ」、「遡上高さ」といった用語が用いられます。



水深が浅くなるにつれ津波の速さは遅くなるため、後ろからきた波が更におおいかぶさり急激に波が高くなります。



避難時の心得

避難する時はどうするの？



自主的に
注意報や警報が出る前に来る津波もあるので、早めの自主避難を心がけましょう。



速やかに
避難の勧告や指示に従い速やかに高台などへ避難しましょう。



高い場所へ
海岸から「より遠く」ではなく「より高い」場所へ速やかに避難しましょう。



徒歩で
避難は徒歩で行い車での避難は渋滞や危険を招くので控えましょう。



協力して
協力し合って、お年寄りや体の不自由な方々に声をかけ、安全に避難しましょう。



油断禁物
小さな揺れでも津波の危険があります。火の始末を確認し、身の安全を確保しましょう。



正しい情報
防災行政無線・ラジオなどで、正しい情報を入手しましょう。

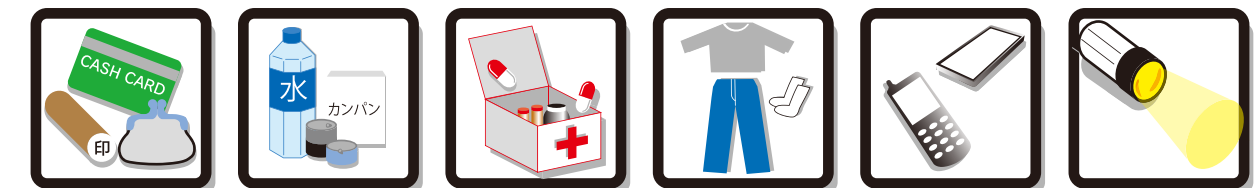


近づかない
注意報や警報が解除されるまでは海岸や川に近づかないようにしましょう。



戻らない
津波は何度も襲ってくるので、避難解除になるまでは避難所等に留まりましょう。

事前に準備しておく良いもの



貴重品や現金など 水・食料など 薬など 衣類やタオルなど 携帯電話など 懐中電灯

その他、乳児用ミルクなど必要に応じて準備しましょう。



避難情報の入手は？



家族への連絡手段は？

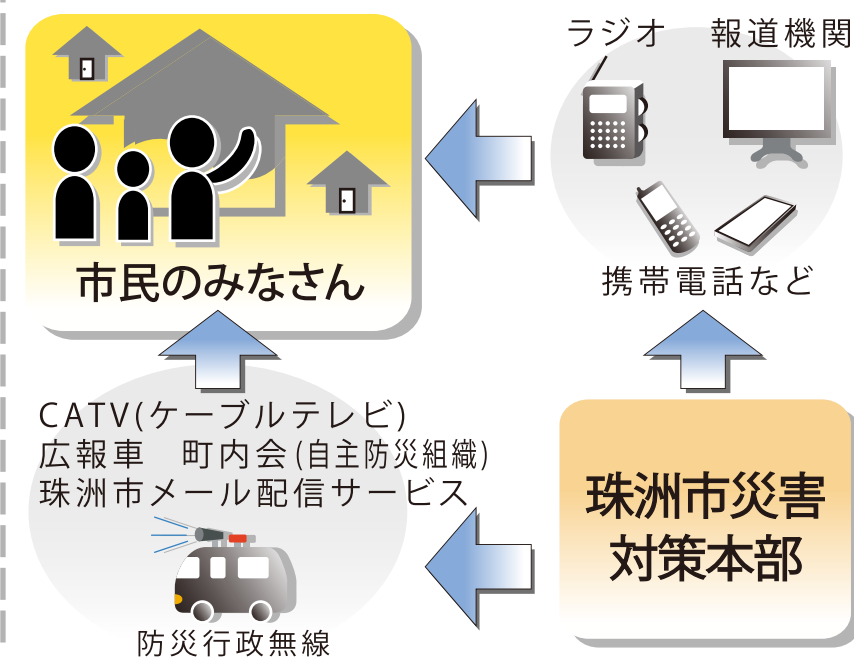
津波警報等の種類

気象庁では、津波による災害の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分を目標に津波警報(大津波、津波)または津波注意報を発表します。

大津波警報	高いところで 3m を超える津波 が予想されますので、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波警報	高いところで 1～3m 程度の津波 が予想されますので、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	高いところで 0.2～1m 程度の津波 が予想されますので、ただちに沿岸部から離れ注意してください。

気象庁ホームページより最新の津波警報・注意報を確認することができます。
気象庁： <http://www.jma.go.jp/jp/tsunami/>

情報伝達経路



珠洲市メール配信サービス

珠洲市では、市民の皆さんに災害情報等を登録制の電子メールで配信しています。登録すると、気象庁の発表とほぼ同時に気象情報が届くほか、防災行政無線でお知らせする内容を配信しています。

珠洲市メール配信登録： suzu@entry.mail-dpt.jp

登録用QRコード



詳しくは珠洲市ホームページより確認することができます。
珠洲市メール配信サービス：
http://www.city.suzu.lg.jp/soumu/suzu_mail_service.html

わが家の防災メモ

家族が離ればなれになった時の避難所・集合場所又は連絡方法を決めておきましょう。

● 家族の情報や連絡先を書き込みましょう。

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校などの電話番号

わが家の避難所	避難時の緊急連絡先
家族の集合場所	持出品の置場所

171 災害時の声の伝言板 災害用伝言ダイヤル

災害時には電話が混雑して家族や知人と連絡がとれないことも多くあります。そのような時には「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始時期や録音件数などはNTTが決定し、テレビやラジオなどの報道機関を通じてお知らせすることになります。

録音方法

自宅の電話番号
171 → 1 → 0768-〇〇-〇〇〇〇
市外局番が必要です
音声案内が流れます

再生方法

自宅の電話番号
171 → 2 → 0768-〇〇-〇〇〇〇
市外局番が必要です
音声案内が流れます

※ 災害用伝言ダイヤルは、一般電話・公衆電話、携帯電話(一部不可)、PHSからも利用可能です。